

たのしい夏まつり支援事業

[738]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0101	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	たのしい夏まつり実行委員会 市民	<ul style="list-style-type: none"> ・尾張旭まつり(さくらまつり、たのしい夏まつり、市民祭、農業まつり)の1つ。 ・企画から運営まで市民組織の「たのしい夏まつり実行委員会」が実施。 ・例年、8月下旬、スカイワードあさひ及び城山公園一帯を会場に開催。 ・ふるさとづくりを応援するという立場から、実施費の一部を市が負担。たのしい夏まつり実行委員会に対して助成金を交付。 ・市は事務局として警察署など関係団体との調整や当日の運営補助、警備協力などを行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>【負担金の推移】</p> <p>H24・H25 700万円 H26～ 720万円(消費税増税)</p> <p>H23以前は旧実行委員会(「ふれあい夏まつり実行委員会」)による実施。</p>
参加する市民が増え、充実したたのしい夏まつりが開催される。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	市負担金額	千円	7,200	7,200	7,200	7,200
	市負担比率	%	78.9	73.5	70.6	74.5
成果指標	参加者数	人	32,000	33,000	30,000	33,000
	たのしい夏まつりに満足している人の割合	%	-	10.7	18	9.3
事業費 計			7,200	7,200	7,200	7,200
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	7,200	7,200	7,200

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 来場者数は一定規模で推移している。「たのしい夏まつりに満足している人の割合」は、前年度の実績値に比べ1.4ポイント減少した。</p> <p>(原因) 天候に左右されるイベントであることや、実施主体が自己資金を持たない市民団体(市負担金のほか、参加者からの負担金、協賛金により運営)であることから、大幅な向上は難しい。</p>
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

尾張旭まつり支援事業

[743]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0102	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張旭まつり実行委員会 市民	<ul style="list-style-type: none"> 『尾張旭まつり』には、「さくらまつり」「たのしい夏まつり」「市民祭」「農業まつり」の4つがあり、それぞれ担当事務局を編成。これらをとりまとめる事務局を市民活動課が担当。会議の開催その他の庶務を実施する。 市が尾張旭まつり実行委員会事務局費を負担。主な使途は、会議費・各まつり共通で使用する消耗品や封筒印刷など。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
参加する市民が増え、充実した尾張旭まつりが開催される。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	市負担金額	千円	94	94	94	94
	市負担比率	%	100	100	100	100
成果指標	のべ参加者数	のべ人	110,000	94,500	110,000	104,000
	尾張旭まつりに対する認知度	%	-	12	24	12
事業費 計			94	94	94	94
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	94	94	94

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 来場者数は一定規模で推移している。「尾張旭まつりに対する認知度(各まつりに来年も行きたいと回答した割合の平均値)」は横ばい。 (原因) 年度間の増減は、天候や、桜の開花状況など気象状況による影響が大きいため、来場者数は横ばい傾向と思われる。指標とする数値(来年も行きたい)は低下傾向であるが、同アンケートの「行ったことがある」と回答した割合は微増の傾向にあるため、より魅力ある企画の実施に努め、リピーターの増加へつなげる必要がある。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

市民祭開催事業

[735]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0103	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・市商工会員 ・市民祭実行委員会 	<p>尾張旭まつり実行委員会への負担金(市費)と各種協賛金(特別協賛・チラシ広告協賛・市出店協賛など)により、市民祭を開催する。</p> <p>日時 平成30年10月13日(土)、14日(日)午前10時~午後4時</p> <p>会場 城山公園、スカイワードあさひ一帯</p> <p>主催 尾張旭市まつり実行委員会、尾張旭市、尾張旭市商工会</p> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ、金管バンドパレード、食の広場、こども広場、商工会スタンプラリー、フリーマーケットなど ・災害時相互応援協定を締結している石川県輪島市から御陣乗太鼓を招待し、ステージで披露 <p><同時開催イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張旭駅前にぎわいフェスタ、消防ひろば、消費生活展(13日) ・名古屋産業大学、名古屋経営短期大学の大学祭(両日)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種催しを通じて市民相互の交流が図られるとともに、地域に愛着を持つことができる。 ・市内商工業者がまつりに協賛、出店することで、地域の産業が振興されている。 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	延べ来場者数	人	32,000	31,000	35,000	35,000
	参加団体の数	団体	178	207	180	201
成果指標	市民祭への参加率 尾張旭市「まちづくりアンケート」結果参照	%	67	69.4	70	69.4
事業費 計			9,500	9,500	9,500	9,500
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	9,500	9,500	9,500

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) H29、H30ともに69.4%と高い水準で横ばいの状況である。</p> <p>(原因) チラシの全戸配布など各種周知を行っていることから、市民への認知度は91%と高い状態であり、市民に定着していると考えられる。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

さくらまつり開催事業

[736]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0104	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 来場者 市観光協会 写生大会優秀作品選出者 	城山公園一帯(スカイワードあさひ、旭城含む)でさくらまつりを開催する。 ・主催 尾張旭まつり実行委員会、尾張旭市 ・期間 4月1日～10日 ・内容 ぼんぼりの点灯、夜桜ライトアップ 写生大会(小学生以下対象) 期間中の土・日曜日にイベント開催(ステージショーなど) 文化協会茶華道部会による茶会 平成20年度以降、まつりの運営を尾張旭市観光協会に委託している。 写生大会優秀作品の表彰式・展示 ・期間 5月下旬～6月上旬 ・会場 スカイワードあさひギャラリーあさひ
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
<ul style="list-style-type: none"> 市民の憩いの場である城山公園、旭城及びスカイワードあさひ一帯の桜が多くのかたに知られている。 さくらまつりの各種催しが市民の交流の機会となっている。 		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	さくらまつり開催期間中の来場者数	人	37,000	20,500	35,000	25,000	
成果指標	さくらまつりの認知度	%		88.7	92	88.5	
指標・事業費	事業費 計			4,100	4,200	4,250	4,250
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		4,100	4,200	4,250	4,250

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) さくらまつりの認知度は、H29は88.7%、H30は88.5%とほぼ横ばいの状況である。 (原因) 既にチラシの全戸配布など各種周知を行い、一定の認知度を獲得している。
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

農業まつり支援事業

[737]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人がふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0105	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民・まつり来訪者	手段(事務事業の内容、やり方、手順) ・あいち尾東農業協同組合により、11月下旬の日曜日にスカイワードあさひ一帯を会場に開催。 (16年度までは、市民会館、その周辺で行っていた。) 主な内容は、農産物品評会、直売、盆栽展示、ステージショー。 当日の運営スタッフは、農協職員のほか市職員、委託警備員。 平成29年度 平成29年11月19日(日)実施 平成30年度 平成30年11月18日(日)実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	市民相互の交流が図られている。 ・農業文化に触れ、ふるさと意識が高まっている。 ・市民の農業に対する理解と親しみを深めている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	延べ来場者数	人	9,000	10,000	9,500	11,000
成果指標	農業まつりへの参加率	%	11	12.0	11	13.2
事業費 計			2,380	2,380	2,384	2,381
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,380	2,380	2,384

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 農業まつりの参加率は昨年度実績と比べ1.2ポイント向上した。 (原因) 市民の農業に対する関心が高まっていると考えられるため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

市制50周年記念事業準備事務

[1309]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人がふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0106	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	01	イベントを通じたふれあいの推進	担当	企画部 企画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	市制50周年を、今ある市の魅力を見つめ直し、さらなる発展に向けた飛躍の年として位置づけ、まちを挙げて祝うとともに、財政的な視点の中で知恵と創意工夫の下、全庁を挙げて記念事業に取り組む。 (平成30年度) ・市制50周年記念事業の進め方の検討 (平成31年度) ・事業計画の立案・決定
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・まちを挙げて各種の記念事業を実施することにより、市民の連帯とふるさとへの「誇り」と「愛着」を深め、さらなる尾張旭の発展につなげていく。	(平成32年度) 市制50周年記念事業のとりまとめ部署として、記念事業全体の進行管理を行う。 【具体の事務内容】 ・記念事業に係る幹部会の庶務 ・総括的な記念事業における議会及びマスコミへの対応 ・記念事業実施状況の取りまとめ ・記念事業予算枠の管理 ・その他総括的な記念事業に係る必要な事務 市制50周年記念特別事業の実施を予定。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	実施した記念事業数	事業				
成果指標	実施した記念事業への参加者総数(延べ人数)	人				
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	記念事業実施に向け、順調に準備を進めている。
--------	--	------------------------

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	新規
	市制50周年事業に関する基本的な構想を策定します。		
実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	市制50周年記念事業基本構想を策定した。		

尾張あさひ苑維持管理事業

[745]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0201	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	観光・レクリエーション資源の充実	担当	総務部 財産経営課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	施設 尾張あさひ苑利用者	<p>利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、設備の保守点検、改修、修繕等により、適切な管理運営ができるように努める。 尾張あさひ苑の利用拡大を図るため市広報誌やホームページにPR記事を掲載する。</p> <p>平成17年度までは施設管理運営業務を施設管理協会に委託していた。 平成18年度から指定管理者制度へ移行しており、指定管理者が行う業務について、定期的に報告を受け協議等を行う。 平成22年度に尾張あさひ苑のあり方検討会を設置し、尾張あさひ苑の存廃を含めた検討を行い、平成23年10月に検討会から提言書が提出され、平成24年3月には報告書が提出された。 平成27年度に外壁・屋上防水改修工事施工 第3期指定管理の指定管理期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日 令和3年4月からの第4期指定管理に向けた事務を進める。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	委託料(指定管理料)	千円	22,500	22,500	22,500	22,500
	年間開館日数 (平成28年度までの指標：維持管理に関する協議回数(数値は<>))	日<回>	358<6>	357	358	357
成果指標	尾張あさひ苑利用者数(宿泊者、日帰入浴者)	人	15,358	14,421	18,000	14,235
	年間使用部屋数 (平成28年度までの指標：修繕発生件数(数値は<>))	室<件>	4527<4>	4,163	4,654	4,191
事業費計			23,200	24,680	23,211	22,510
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	23,200	24,680	23,211

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)「尾張あさひ苑利用者数(宿泊者、日帰入浴者)」は前年度実績と比べ1.3%低下しています。 (原因)梅雨の時期など天候の変化が続き、急なキャンセルが多発したこと、暖冬の影響でウインターレジャーの需要が減り、客足が遠のいたため。</p>
--------	--	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	<p>指定管理者の選定方法について、次期指定管理期間に向け、見直しを行います。 関係課との連携方法について検討します。</p>		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

指定管理者の選定方法については、任意で行うことで方針が定まりました。
関係課との連携方法については、継続して検討が必要である。

市観光促進事業

[750]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0202	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	観光・レクリエーション資源の充実	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・市内観光施設利用者(市外からの来訪者含む) ・尾張旭市観光協会 ・愛知県観光協会 	市観光協会への支援 ・H15年11月 尾張旭市観光協会設立 ・観光振興事業費補助金の交付(H16~) 観光に関する行事の実施及び宣伝に関する事業 観光事業に関する情報の収集及び提供に関する事業 特産品の研究及び開発に関する事業 観光協会管理運営事業 その他観光振興に関する事業 愛知県観光協会への負担金支出 平成29~31年度にかけて行われる「愛知デスティネーションキャンペーン」に参加するため80千円増額
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
観光協会と連携し、観光・レクリエーション資源の充実に努めるとともに、より多くの人々が本市の良さを知り、観光スポットや各種催しに来場・参加している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	尾張旭市観光協会補助金・愛知県観光協会負担金総額	千円	1,765	1,845	1,845	1,845
	既存観光施設を活用したイベント延べ参加者(さくらまつり、たのしい夏まつり、市民祭、農業まつり)	人	113,000	93,500	130,000	104,000
成果指標	観光・レク施設に対する市民満足度	%	57.2	56.0	65	51.6
	観光協会が行った事業数	件	21	22	25	26
事業費 計			1,765	3,347	15,542	15,183
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		1,765	3,347	15,542

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)観光・レク施設に対する市民満足度は、H29の56.0%からH30の51.6%に低下したが、観光協会が行った事業数は、4件増加した。 (原因)観光地となるような場所が少ないというイメージが定着していることが一因と考えられる。また、新たに開設したまち案内を活用したイベントが開催された。
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	グリーンシティケーブルテレビ新社屋の観光コーナーを活用して、観光促進を進めます。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
尾張旭まち案内を開設し、観光協会が運営している。開設初年度ではあったが、まち案内を拠点としたイベントを開催するなど、交流人口の増加や市のPR等に繋がった。			

マラソン支援事業

[1247]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0203	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	観光・レクリエーション資源の充実	担当	企画部 企画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 マラソン大会参加者 尾張旭森林マラソン実行委員会	尾張旭森林マラソン実行委員会が主催するマラソン大会の支援を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<支援内容> ・負担金(安全対策、尾張旭市及び森林公園のPRに係る費用の1/2) ・尾張旭森林マラソン実行委員会への参加 ・道路使用許可申請に係る警察との協議の支援 ・開催が決定した場合の市広報誌でのPR
	・多くのランナー・ボランティアが参加し、安全性の高いマラソン大会が開催される。 ・毎年度継続可能なマラソン大会が計画される。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	マラソン大会開催に関する外部打合せ等回数	回	4	4	10	7
	マラソン大会開催に関する市広報誌掲載記事数	件	2	1	2	1
成果指標	マラソン・ボランティア参加者数	人	573	543	1,100	599
	マラソン大会当日の重大事故件数	件	0	0	0	0
事業費 計			1,000	1,000	1,000	1,000
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,000	1,000	1,000

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) H29実績とH30実績を比較すると10.3%向上している。 (原因) マラソンの種目を追加したことにより、参加者数が増加したと思われる。
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	安全性の確保について、適切な支援が行えるよう庁内の体制を検討します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
負担金の搬出のほか、実施に向けた関係各課等との調整を行い、当日の運営の補助も実施した。			

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0301	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	国際交流・地域間交流の推進	担当	企画部 健康都市推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民、在住外国人、市内を拠点に活動する国際交流団体	・市内を拠点に活動する国際交流団体に対し、その事業費の一部を補助する。 ・市民祭会場に国際交流団体と共催で「国際交流コーナー」を設け、市民祭来場者(日本人・外国人)に交流の場を提供する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<実施内容>(実施主体は尾張旭国際交流会・市共催) ・カントリープレゼンテーション ・国際交流コンサート ・外国語講座 ・インターナショナルクッキング ・国際交流フェスティバル ・市民祭「国際交流コーナー」
	市民と在住外国人との各種交流を支援することによって、草の根的な交流ができている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	国際交流活動を行う団体の年間活動回数	件	94	90	90	88	
成果指標	国際交流団体が主催する交流事業に参加した市民数	人	1,514	1,579	1,500	1,196	
	国際交流団体が主催する交流事業に参加した外国人の数	人	591	610	600	442	
事業費 計			287	282	285	282	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	287	282	285	282

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	国際交流は、市民主導で自発的に行われるほうが多角的に展開することができ、継続的な活動が見込まれることから、市民すべてを対象とした草の根交流を促進している。 平成30年度は、行事が台風の影響で中止となったこともあり、参加者数が減少した。市民団体である国際交流会から市内外の教育施設の外国人生徒への働きかけで、交流行事への参加促進活動を新たに開始しており、今後の成果向上に向けて、市としても支援を行っていく。
--------	--	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	市民団体である国際交流会から市内外の教育施設の外国人生徒への働きかけで、交流行事への参加促進活動を新たに開始しており、若い年齢層の行事への参加が見られた。		

輪島市地域間交流事業

[1239]

事業の位置づけ

一般会計

政策	07	人と人とがふれあうまちづくり	事務事業コード	72-0302	実施計画	
施策	02	にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	国際交流・地域間交流の推進	担当	市民生活部 産業課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)
 ・市民
 ・輪島市民
 ・市観光協会

意図(対象をどのような状態にしたいのか)
 ・大規模災害時に支援できる関係性が保たれるよう、観光・物産・特産品・伝統芸能等を通じて石川県輪島市と地域間交流が行われている。
 ・輪島市の白米千枚田オーナー制度に参加し、市民レベルでの交流が図られている。

手段(事務事業の内容、やり方、手順)
 平成23年3月に石川県輪島市と「大規模災害時における相互応援に関する協定」を締結し、これを機に地域間交流を進めている。
 <地域間交流事業>
 市民祭で輪島市の御陣乗太鼓を公演(H24~)
 市民祭で輪島市特産品PR販売(H24~)
 輪島市白米千枚田オーナー制度に会員登録(H25~)
 白米千枚田で行う「あぜのきらめき」で使われているペットボトル(LED照明)と同じ物を使い、田んぼイルミネーションを実施(H25~)
 参加者を市民公募し、白米千枚田で田植えツアー(H26~)
 平成27年度から尾張旭市観光協会に事業委託

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	輪島市との地域間交流の取り組み	種類	5	5	5	5
成果指標	千枚田での田植えツアー参加者数	人	23	29	40	40
事業費 計			680	681	681	681
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	680	681	681

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)千枚田での田植えツアー参加者数は、H30は、H29と比べ募集人数が増加し、満員であった。 (原因)事業が定着してきたほか、小学校へのチラシの配布を新たに始めたことが集客に結びついたと考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-